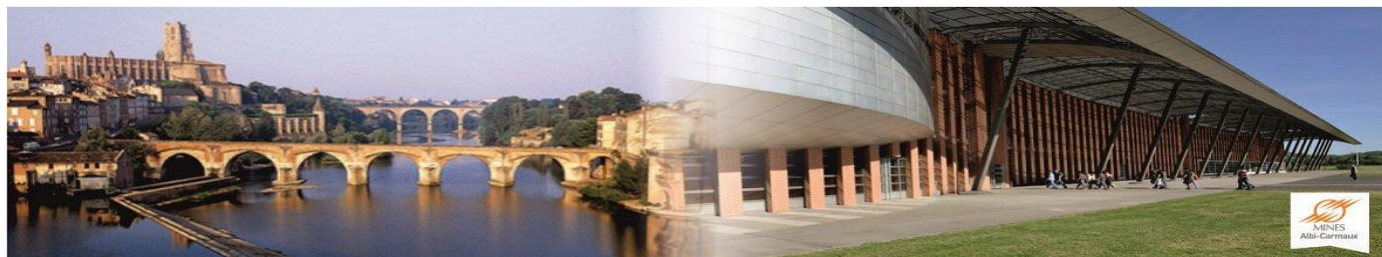
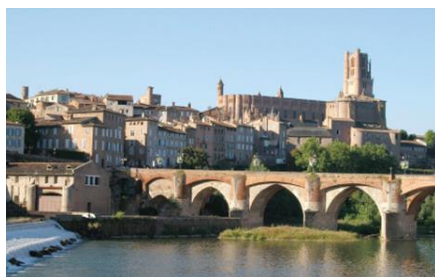


●学生数750人 ●教員75人 ●職員250人 ●留学生150人
ホームページ <http://www.mines-albi.fr/>
交流協定締結年月日：2016年4月1日 主管学部：工学部



国際交流の特色

Ecole des Mines d'ALBI (アルビ鉱山大学) は1993年に設立された比較的新しい工学系の大学である。生体工学 (Bio-Health engineering)、情報工学 (Industrial engineering: Processes and information systems)、エネルギー工学 (Energy and environmental engineering)、および材料工学 (Advanced materials and structural engineering) の4学科で構成され、教員数および学生数においても本学工学部と同程度の規模を私有す工学系の大学である。大学が位置するアルビ市に隣接するトゥールーズ市には巨大な航空機企業が多くあり、その影響から大学においても航空機関連の研究テーマを中心とした産学連携が非常に充実している。そのため大学には多くの企業研究者も在籍しており、産業界との交流が非常に充実しているのも大きな特徴である。



学生からの声

2017年1月から3ヶ月間、国際インターンシップ制度を利用し、航空機用Ti合金に関する研究を行なう目的で留学しました。

航空機産業が重要な地位を占める欧州では、官学共同での研究開発が進められており、本大学とアルビ鉱山大学の研究設備の圧倒的な違いに強い衝撃を受けたことを覚えています。

同じオフィスで滞在した学生たちを始め、アルビの方々は留学生に非常に親切であり、人と人との関係性を大切にする文化や、自国だけでなく他国への歴史/文化的理解、仕事とプライベートを明確に分ける働き方など、日本と異なる文化を学ぶ、非常に有用な経験となりました。同時に、この経験は改めて日本の長所や短所を見つめ直す機会となったと考えています。

本留学は、足りない研究知識、不十分な言語能力や主体性など、実際に留学してみたことで感じた「未熟さ」が多々ありました。一方で、多様な国籍の人との交流、食事、旅行や建築など「挑戦してみたからこそ出来た経験」も多く得られた機会だったと感じています。

「知らない/分からないからこそ、チャレンジ/成長できる経験=国際インターンシップ」であると思います。

工学研究科 山根 玄

教員からの声

アルビ鉱山大学は南仏のアルビ市にあり、人口約5万人の小さな街にある大学です。パリやリヨンなどの大都市と比較して住宅等の物価も安く、また安全面においても学生の皆さんには住みやすい街になります。上記したとおり、大学の規模も本学の工学部と同程度であり、大学寮も大学の敷地内にあるために日々の生活も過ごしやすい環境にあります。上記したとおり、企業研究者も多く在籍していることから多くの先端的なトピックスを学べると思います。異文化交流の素晴らしい機会にもなります。

工学部准教授 松本洋明